

とえだ

Soeda
Public
Relations



チームの団結力に拍手！
2024春の福岡県小学生ドッジボール選手権
添田フレンズ優勝おめでとうございます！！

APR.2025

4

No.762

伝統ある小学校の歴史を未来へつなぐ

地域と共に歩いた学校の軌跡

明治5年に開校した添田小学校から始まる町内各小学校の歴史。令和7年4月、新しい添田小学校の開校により閉校を迎える添田小学校・中元寺小学校・落合小学校・津野小学校・真木小学校が、その誕生から現在まで児童や地域と歩んできた道を振り返ります。

学

制が明治5年8月に公布されると、その年の11月に添田村の法光寺を仮校舎として尋思校が開かれまし
た。添田小学校の前身となる
学校です。添田小学校は建て
替えと移転を行い、昭和33年
には各学年に約10クラス、児
童数3155人を数える全国
でも有数の大規模校となりま
す。炭鉱の閉山とともに児童
数は減少していきますが、町
内随一の卒業生を誇ります。

本

町にある他の小学校の
歴史も古く、中元寺
地区では明治初期まで民家で
わずかな読み書き算段を教え
る寺子屋教育が行われていま
したが、明治11年、上中元寺
と下中元寺の境に位置する田
中組にあった草葺きの民家を

校舎にして学校教育を始めた
のが中元寺小学校の始まりで
す。中元寺校区では剣道が盛
んで、昭和10年には大日本武
徳会全国少年剣道大会で全国
優勝を成し遂げています。

落

合地区では上落合村、
下落合村、榎田村と3
村がそれぞれ独立していまし
たが、明治9年、3村が連合
して下落合地区に校舎を建築
し、落合小学校が開校しまし
た。落合小学校では忘れるこ
とができない戦災が発生しま
す。第2次世界大戦後の昭和
20年11月12日の午後、二又ト
ンネルに格納されていた旧陸
軍の火薬が敗戦によって不要
となったため、占領軍が焼却
処分しようと火薬に点火した
ことから、山が吹き飛ぶほど

の大爆発が起きました。被
害は2千口四方におよび、家
屋の倒壊や火災が続出、落合
小学校の児童29人を含む147人
の尊い命を失い、負傷者は149
人、倒壊家屋は135戸にものぼ
りました。わたしたちは添田
町民としてこの出来事を風化
させず、いつまでも記憶にと
どめておかねばなりません。

古

河太峰鉱業などがあ
り、炭鉱景観で活気に
溢れていた真木地区で昭和34
年に開校した真木小学校。開
校時に児童数341人でスタート
した真木小学校は昭和44年の
大峰炭鉱閉山後に78人まで減
少します。この頃、体育館建
設問題に端を発した真木小学
校を廃止し添田小学校へ統合
しようとする『真木小統廃合
問題』が起こります。しかし、
校区住民の真木小存続希望
が極めて強く、校区あげての
猛反対運動により統廃合は実
現に至らず、地域の学校とし
て子どもたちを育み続けまし
た。

明

治の時代から地域と共
に歩んできた添田町の
小学校。人口減少に伴って児
童数の減少が続くとともに、
近年、教育環境が大きく変化
してきました。児童の能力を
伸ばしつつ、社会的自立の基
礎、国家・社会の形成者とし
ての基本的資質を養うことを
目的とする義務教育段階では
「集団規模の確保」が重要とな

ります。少人数学校では、様々
な学習方法に取り組んでいま
すが、集団での学習や生活が
難しい状況です。集団の中で
多様な考えに触れ、認め合い、
協力し合い、切磋琢磨するこ
とを通じて、思考力や表現力、
判断力、問題解決能力などを
育み、社会性や規範意識を身
に付けることが重要です。

本

町はこれまで「地域と
共に子どもを育てよ
う」という考えの基、家庭・
地域・学校・行政が一つになっ
て進んできました。急激なス
ピードで変わる時代の潮流の
中でも、家庭や地域の皆さん
の支えで、変化に対応できる
柔軟な児童を育み、送り出す
ことが出来てきました。4月
に誕生した新添田小学校は、
ふるさと添田町を愛し、夢・
希望を実現するかしこさとた
くましさを兼ね備えた、人間
性豊かな心を持つ子どもの育
成に励みます。日本の、添田
町の未来を担う児童に対し
て、引き続き皆さんの変わら
ぬご支援・ご協力をよろしく
お願いします。

添田小学校・中元寺小学校・ 落合小学校・津野小学校・真木小学校の軌跡

明治5年	【添田】添田小学校の基となる尋思校が開校
明治6年	【津野】下津野小学校が開校
明治7年	【津野】上津野小学校が開校
明治9年	【落合】下落合村で落合小学校開校
	【添田】旧小倉藩社倉（現在の旧添田小学校地）に移転
明治11年	【中元寺】中元寺小学校が開校
明治17年	【中元寺】大敷分教場を設置
明治20年	【中元寺】大敷分教場を廃止
明治26年	【落合】上落合村に校舎新築
明治27年	【中元寺】大敷分教場を再設置
明治45年	【添田】小学校を南北に分離
大正6年	【津野】上・下津野小学校が合併し津野尋常高等小学校と改称
大正10年	【中元寺】校舎新築・移転
大正11年	【落合】彦山村大字落合に校舎新築移転
昭和6年	【添田】南北小学校を合併し、添田尋常高等小学校と改称
昭和12年	【中元寺】旧三崎地区に上添田炭鉱が開設。児童数が急増
昭和20年	【添田】火災により校舎4棟が消失
	【落合】児童29人を含む被災死亡者147人の大惨事となった二又トンネル爆発事故発生
昭和22年	各々が現在の学校名に改称
昭和27年	【添田】木造校舎を新築
昭和28年	【中元寺】現在の旧中元寺小学校地に木造校舎を新築
昭和30年	【津野】添田町と津野村が合併し、添田町立小学校となる
昭和31年	【中元寺】上添田炭鉱閉山により児童数激減
昭和32年	【落合】現在の旧落合小学校地に校舎を新築
昭和33年	【添田】児童数が3155人となり全国でも有数の大規模校となる
昭和34年	【真木】真木小学校開校
	【中元寺】大蔵大臣よりこども銀行優良校表彰を受ける
昭和44年	【中元寺】大敷分校を閉校し本校に統合
昭和46年	【津野】油木ダム建設により校舎を埋金地区に新築
昭和47年	【津野】上津野分校を閉校し本校に統合
昭和54年	【真木】統廃合問題に対する反対運動
昭和55年	【添田】校舎新築
昭和56年	【真木】校舎新築
	【中元寺】校舎新築
	【落合】校舎新築
昭和63年	【真木】真木小トランペット鼓隊を編成
平成4年	【津野】山村留学生制度実施
平成14年	【落合】英彦山小学校閉校により落合小に統合
平成22年	【津野】山村留学休止
平成24年	【落合】九州北部豪雨で被災
令和4年	【津野】児童数の減少により休校
	【真木】真木小トランペット鼓隊を解散
令和5年	【落合】令和5年7月豪雨で被災
令和7年	添田小学校・中元寺小学校・落合小学校・津野小学校・真木小学校、3月31日をもって閉校



落合小学校

3月7日、体育館に入りきれない程の人が訪れた学校閉校式では、在校生による和太鼓などの演奏や、卒業生などから贈られたメッセージの紹介などが行われ、涙にあふれた式典となりました。



添田小学校

3月10日、関係者を招いた学校閉校式では、思い出ビデオ上映などが行われました。学校開放は22日に実施され、卒業生や保護者など多くの人が訪れ、学校を懐かしみ、別れを惜しんでいました。

真木小学校

3月7日の閉校式では、真木小の歩みを振り返るスライドショーのあと、児童によるソーラン節の演技が行われました。



思い出あふれる学校へ伝えた感謝 学校閉校式

3月末で閉校する各小学校では、在校生や保護者、地域関係者などが参加して、学校最後の行事となる閉校式が行われました。閉校式では各学校、教育委員や校長が、学校を支えてきた保護者や地域の皆さん、歴代の校長を始めとする教職員に感謝を述べました。高瀬教育長もこれまでの感謝に加え「学校は人の心を育てる場です。友だち、先生、多くのひととの出会いの中で人の心は育っていきます。100年を超える歴史ある学校はこれまでに多くの人の心を育ててきました。新しい学校も、そのような場であって欲しいと願います」と挨拶。寺西町長も「地域に小学校があったからこそ、子どもを通じて絆が深まってきました。4月から新しい学校が開校しますが、閉校した小学校はいつまでも私たちの心の中に残ります。新しい小学校へ伝えた感謝」。

式典終了後には、校舎の開放が行われ、参加者は思い思いに校舎を見学。昇降口や教室、廊下など久しぶりに見ると自分が感じるよりも小さなことに驚きと懐かしさを感じながら、それぞれの場所で思い出話に花を咲かせていました。また、学校で保管していた卒業生の写真展示も各学校で行われ、懐かしい写真を見ながら笑顔と笑い声があふれていました。



津野小学校

令和4年3月に休校した津野小学校。今回、閉校式は行われませんが、休校式典には卒業生や地域の人が多く訪れました。



中元寺小学校

3月8日、関係者を招いて開かれた開校式では中元寺小学校に残る記録をまとめた思い出スライドショーが上映されました。





にぎやかな過疎・にぎやかな添田へ

令和7年度 添田町施政方針

3月6日に行われた定例議会本会議で、寺西町長が表明した本年度の施政方針の中から町が目指す方向性を抜粋してお伝えします。

この4月には、いよいよ添田町立小中学校の新校舎が落成・開校いたします。桜の名所・添田公園の一角に、4階建て、地元の木材をふんだんに使った内装で温かく優しい小中同居の学校です。開校に当たり地域や保護者の皆さまを始め多くの関係者に、ご理解とご協力を賜りましたこと、心より深く感謝申し上げます。町としましては、未来への投資であります。この春、学校生活をスタートする子どもたちが、いつまでも記憶に残るよう町政の推進に努めてまいります。

過疎化・人口減少を 受け入れた施策を

本町の人口は、令和6年12

月末現在で8311人、国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計によると、10年後の2035年には6301人と推計されています。全国的にも人口減少が進む中で、過疎化が進み人口減少にも歯止めがきかない状況では、この数字を現実として受け止める必要があります。

若者世代・子育て世代など、特に労働の中核的な担い手として経済に活力を生み出す生産年齢人口の減少が懸念されています。

このような状況ではありますが、減少する中にも町を持続して行く必要があります。それには、我が町の人口構成に着目し、現在の高齢者の多い逆ピラミッド型の年齢構成から、各年齢層平均した釣鐘

型の人口構成を求めているかなければなりません。

そのために、誰もが孤立することなく健康で、持続可能な農業や、人々の交流を生み出す観光などによる雇用創出を図り、豊かな自然環境のもと、「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を将来像として、その実現を目指し取り組んでいるところです。

「にぎやかな過疎」に 着目した予算編成

そこで重要なのが、地域コミュニティの醸成です。

過疎化が進む本町では、人口減少や高齢化が深刻な問題となっていますが、その一方で地域の人々が集まり、活気を取り戻そうとする動きが見られます。地域の特産品を活かしたイベントや、地元の文化伝統を継承する祭りが開催されることで、外部からの観光客を呼び込むことが出来ます。若者たちが移住し、地域の資源を活用した新たなビジネスを立ち上げるケースもあります。

こうした取り組みは、地域住民の結束を強め、「コミュニ

ティの活性化を促進するものです。さらにSNSを通じて、地域の魅力を発信することも重要です。

添田に住む人々が自らの生活や文化を発信することで、全国的な関心を集め、地域への移住や観光を促進する効果が期待できます。

このような取り組みを「にぎやかな過疎」と称しています。言葉自体は、一見矛盾した概念のように思えますが、実際には地域社会の新たな形を示すものです。

「にぎやかな過疎」は、単なる人口の多さではなく、地域の人々がどれだけ活発に交流し、協力し合っているにかかっています。

令和7年度は、こうした「にぎやかさ」を生み出す取り組みがますます重要になってくると考えています。

令和7年度の一般会計当初

予算総額は

87億7212万円

で、前年度当初

予算との比較では、

学校建設が一段落した

ことから16.6パーセント、

17億5231万円の減額とな

っています。事業を推進

するにあたっては、人口減

少など現在の状況を踏まえ

たうえで将来を見通しての

町の負担も考えなければな

りません。既存事業の見直

しや、新規事業経費の精査

などで事業財源の確保を行

い、効率的かつ効果的に施

策を展開し、行政ニーズを

的確に捉えた財政運営に努

添田町 主要事業

令和7年度の主な事業を紹介します。

放課後児童クラブ 施設建設事業

▶ 3億7,499万円（民生費）

小学校の統合に伴い、放課後保育を必要とする小学生の環境整備のため、新たに放課後児童クラブ施設を添田公園駐車場内に建設します。



栂田駅コミュニティー センター改修事業

▶ 337万円（総務費）

豊前栂田駅集会所を地域の子どもから高齢者まで多様な世代が憩いくつろげる、にぎわいづくりのスペースになるよう改修します。



みんなでまちづくり 推進事業

▶ 100万円（総務費）

地域の課題解決などを目的に自主的、主体的で公益性のある活動を行う団体に対し、持続可能な地域力の向上を目的に助成金を支給します。



道の駅歓遊舎ひこさん 周辺再整備事業

▶ 2,416万円（農林業費）

道の駅周辺を人が集まる拠点として再整備を行います。動線を改善し回遊性を高めて、利用者の増加や滞在時間の延長を図り、にぎわい創出を行います。



I C T活用技術者 育成事業

▶ 129万円（農林業費）

林業に携わる人材不足を解消するため、森林計画作成や林道設計などの担い手育成を目的としたQ G I S操作研修やドローン操作講習会を実施します。



带状疱疹ワクチン 予防接種事業

▶ 957万円（衛生費）

带状疱疹のワクチン接種費用を65歳以上の希望者に助成します。助成には年齢要件などがありますので、詳細は別途お知らせします。



水道ビジョン改定事業

▶ 2,804万円（水道会計）

令和3年度に策定した水道ビジョンを4月使用分からの水道料金改定に伴い、今後の水道管の強靱化や浄水場などの更新を見越した計画に改定します。



添田町青少年グローバル 人材育成事業

▶ 803万円（教育費）

インターネットで世界と繋がるだけでなく、実際に国際社会に触れ体感することで地域社会に貢献できる青少年の育成を目的に海外派遣事業を行います。

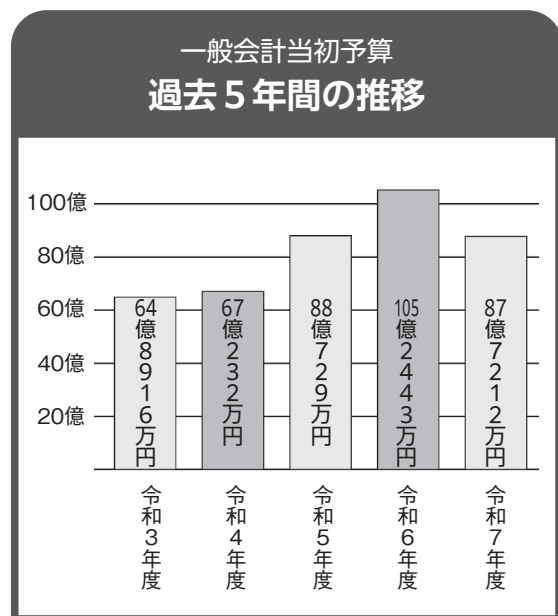


小中学校校舎更新事業

▶ 4億331万円（教育費）

4月に開校した添田町立小中学校。本年度は旧添田中学校の解体工事を行い、その後令和8年度にかけて中学校のグラウンド整備を行います。

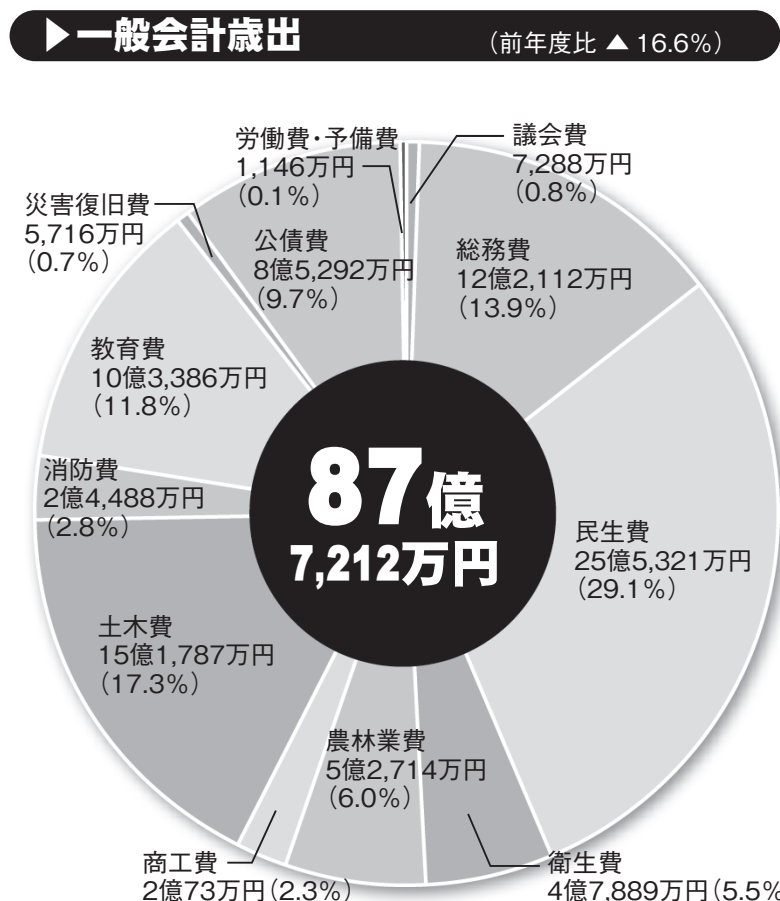
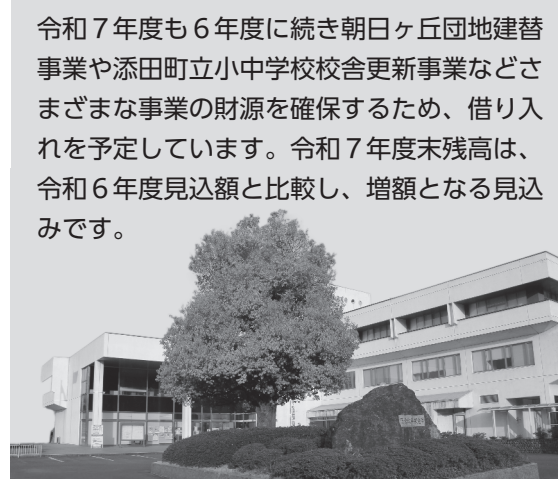




借入金の状況

▶年度末借入金（地方債）残高
一般会計

令和4年度決算額	約63億9,267万円
令和5年度決算額	約85億1,770万円
令和6年度見込額	約112億2,817万円
令和7年度見込額	約119億5,356万円



歳 出は地域の活性化を目的に、歓遊舎ひこさんのロビーにカフェ機能を備えたビクターセンターの設置や国指定重要文化財中島家住宅の庭園整備を行い、にぎわい創出に繋がります。

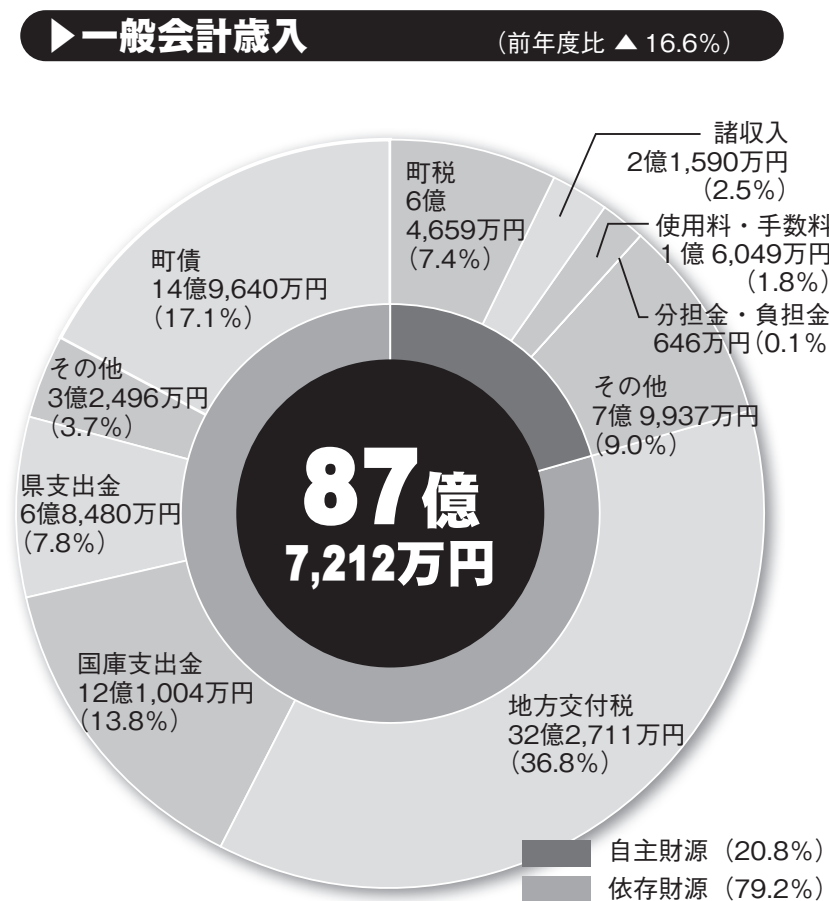
津野・英彦山地区などで実施している移動販売事業も拡充し、山間地域の買い物弱者支援と併せて、介護予防教室を継続して行い高齢者の健康づくりの増進を図り、子育て支援の充実のため、放課後児童クラブ施設の建設工事や物価高騰対策として学校給食費の無償化を行います。

持続可能な社会の実現に向けて、リノベーション支援事業や若者定住促進新築支援事業などを継続して行います。また、道路などの公共インフラの整備も計画的に行い、住み続けられる・住みたくなるまちづくりに向け、取り組みます。

▶特別会計 16億 3,268万円 (前年度に比べ 899万円の増額 (+ 0.6%))

特別会計は、一般の歳入歳出予算と区別して行われる、予算の使用用途が限定された会計です。

特別会計名	当初予算額	前年度比	問い合わせ
国民健康保険事業勘定特別会計	11億6,075万円	▲ 2.9%	住民課保険年金係(☎82-5966)
後期高齢者医療特別会計	2億1,507万円	+ 4.4%	住民課保険年金係(☎82-5966)
住宅新築資金等貸付事業特別会計	126万円	+ 68.0%	社会教育課人権同和推進係(☎82-5800)
バス事業特別会計	2,265万円	▲ 1.0%	まちづくり課まちづくり推進係(☎82-5965)
水道事業会計	2億3,295万円	+ 17.4%	水道課管理係(☎82-5961)



歳 入は、皆さんから納めていただいた税金や使用料・手数料などによる自主財源が全体の20.8%、国や県の基準に基づき交付されたり割り当てられたりする依存財源が79.2%と本年度も財源の多くを依存財源が占める財政構造となりました。

依存財源のうち、国などに事業費を借り入れる町債については、小中学校の校舎新築工事が完了したことに伴い前年度比54.3%、17億7881万円大幅に減額し、14億9640万円となりました。

事業実施の財源として根幹をなし、自主財源の核となる町税は前年度比436万円の増額となりました。個人住民税は納税義務者の減少により減額となりましたが、固定資産税のうち、償却資産で法人設備投資の増加を見込み、約1012万円の増額となったことが主な増額要因です。

令和7年度 添田町の
予算

総額 104億 480万円の
「住み続けられる・住みたくなる」
まちづくりがスタート

昨年度で小中学校の校舎新築工事が完了したことから、前年度比17億4332万円の減額となった令和7年度当初予算。「みんなでまちづくり」を合言葉に「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指し、一般会計87億7212万円・特別会計16億3268万円、予算総額104億480万円の令和7年度まちづくりが始まります。

図 役場財政課(☎82-0350)

用語の説明

【歳入】	▼町税：町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など、皆さんに納めていただく税金
▼地方交付税：市町村の財力に応じて国から交付されるお金	▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金
▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます	▼町債：町の借入金で償還が2年以上にわたるもの
【歳出】	▼議会費：議会運営の経費
▼総務費：行政全般の事務などに関する経費	▼民生費：障害者や高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費
▼衛生費：環境保全や健康づくりの支援などの経費	▼農林業費：農業や林業の振興のための経費
▼商工費：商工業や観光の振興のための経費	▼土木費：道路や河川の整備、町営住宅建設などの経費
▼消防費：消防活動や災害対策などの経費	▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどの経費
▼公債費：過去の町債を返還するための経費	

妊娠から育児までサポート

4月から始まる

妊娠・出産・育児の新制度

☎ 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係
(☎ 31-5001)

産婦健康診査の 助成を始めます

産後は心と身体に大きな変化が現れやすい時期です。町では産後間もない時期のお母さんのところとからだの健康の保持増進と切れ目ない支援のため、産婦健康診査の費用を助成します。

●対象者

健康診査受診日に添田町に住民票がある人
※出産後に添田町に転入した人で、転入前の住所地で公費による産婦健康診査を受診した人は対象外です。

●実施回数

1回の出産につき2回まで

●助成金額

1回につき5,000円

●申請期限

受診日から1年以内

●必要なもの

▶運転免許証などの本人確認書類の写し
▶産科医療機関で受診したことがわかる領収書
または診療明細書 ▶母子手帳 ▶振込先がわかる本人名義の通帳などの写し



5歳児健診が始まります

5歳の時期は基本的な生活習慣が確立し、社会性を身につける大切な時期です。安心して就学を迎える前に得意なこと、苦手なことを把握し準備することが大切です。健診でお子さんの身体の発育や発達、集団の中での特性を把握しましょう。

●健診会場

添田人材開発センター 1階

初回産科受診料を支援します

妊娠判定を受けるための産科受診を、経済的な理由で受診をためらうことのないように初回の産科受診費用の一部を助成します。



●対象者

▶妊娠判定を受けた受診日に添田町に住民票がある人
▶医療機関などの関係機関と町が支援に必要な情報を共有することに同意できる人
▶世帯の課税状況を確認することに同意できる人

●助成対象となる費用

令和7年4月1日以降に妊娠判定のため、初めて産科を受診した時に自己負担した検査費用
※複数回受診した場合は、初回の検査のみ助成の対象となります。

※診察の結果、妊娠ではなかった場合や保険診療になった場合は、助成の対象外です。

●助成金額

上限1万円（1回の妊娠判定につき1回限り）

●申請期限

受診日から1年以内

●申請に必要なもの

▶運転免許証などの本人確認書類の写し ▶妊娠判定のための受診費用がわかる領収書または診療明細書の写し ▶妊娠届出書などの妊娠と判断されたことがわかるもの ▶振込先がわかる本人名義の通帳などの写し



●健診日と対象児

健診日	対象児
6月19日(木)	令和2年4月2日～6月4日生まれ
9月18日(木)	令和2年6月5日～10月27日生まれ
11月20日(木)	令和2年10月28日～12月16日生まれ
令和8年2月19日(木)	令和2年12月17日～4月1日生まれ

※健診日の1か月前までに案内を送付します

●年に1度の健康チェック。健診は未来への投資です

特定健診・がん検診

☎ 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係 (☎ 31-5001)

6月から年に一度の健診が始まります。加入している保険に関係なく、20歳以上の女性、40歳以上の男性がいる世帯に健診のお知らせを郵送します。今年度から申込書に加え、Webでも予約が可能になりました。詳しい申込方法は健診のお知らせをご確認ください。健診は「生活習慣病」や「がん」を早期に発見する最大のチャンスです。ぜひ受診しましょう。

総合健診

●検査項目 特定健診、胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん、肝炎ウイルス、ピロリ菌検査、ABC検査

NEW 尿中塩分濃度の測定を始めます

今年度から特定健診と若年健診を受診した人は尿検査で「尿中塩分濃度」が測定できます。尿中の塩分を測定すると、普段の食事でのどのくらい塩分を摂取しているかがわかります。病院では尿中塩分は測定できません。この機会にぜひ受診しましょう。

※国民健康保険加入者・生活保護受給者が対象です。

継続 特定健診受診でお買物券プレゼント！

40歳～74歳の国民健康保険加入者で特定健診を受診した人に、道の駅歓遊舎ひこさんで使える「お買物券500円分」を受診後に郵送でプレゼントします。※お買物券プレゼントは、国民健康保険税に滞納がない世帯に限ります。

▶お買物券プレゼントに関する問い合わせ
役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

社会保険等被扶養者

●対象者 町内在住の40歳～74歳で、4月以降に被用者保険（社会保険など）から特定健診受診券が届いた人

●自己負担額 送付された書類（特定健診受診券）で確認してください

●申込方法 事業所から送付される特定健診受診券と保険証を準備して役場健康子育て応援課健康・子ども保健係へ申し込みください

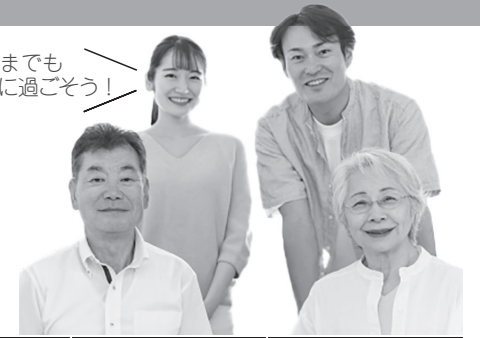
Web予約を始めます！

Web予約は、スマートフォンやパソコンから24時間、いつでもどこからでも予約の空き情報が確認でき、予約や変更が可能です。詳しいWeb予約の方法は、健診のお知らせに同封している「総合健診Web予約方法」をご確認ください。また、町の公式LINEからも予約が可能です。ぜひご利用ください。



↑健診Web
予約サイト

いつまでも
元気に過ごそう！



健(検)診日		会場	受付時間
6月	2日(月)、3日(火) 8日(日)、11日(水) 15日(日)	添田町体育館 (添田公園横)	8時30分 ～ 11時30分
9月	20日(土)、26日(金)		
10月	6日(月)、7日(火) 19日(日)		

健診(検診)項目		対象者	金額
若年健診		30歳～39歳の国保加入者	500円
特定健診		40歳～74歳の国保加入者	500円
後期高齢者健診		後期高齢者医療加入者	500円
基本健診		40歳以上の生活保護世帯	無料
胃がん検診 (バリウム検査)		40歳以上	1,000円
肺がん検診		40歳以上	500円
大腸がん検診		40歳以上	500円
乳がん検診	超音波(エコー)検査	20歳～39歳の女性	800円
	マンモグラフィ検査	40歳以上の女性	1,000円
	超音波(エコー)+マンモグラフィ検査	40歳～49歳の女性	1,500円
子宮頸がん検診		20歳以上の女性	700円
前立腺がん検診		50歳以上	700円
肝炎ウイルス検診		40歳以上	600円
ピロリ菌検査		40歳以上	2,000円 (助成なし)
ABC検査 (ペプシノゲン+ピロリ菌)		40歳以上	3,000円 (助成なし)

※がん検診は、生活保護世帯・非課税世帯・70歳以上は無料。
※40歳～49歳の女性の乳がん検診は、マンモグラフィ検査、または超音波+マンモグラフィ検査のどちらか一方です。
※肝炎ウイルス検診は過去に受診した人・肝炎治療中の人は対象外。
※ピロリ菌とABC検査は、胃の既往歴がある人や治療中・胃切除・腎不全・腎機能障害・過去にピロリ菌を除菌した人・過去に検査した人は対象外。



思い出残る学び舎との別れ

町内各小学校、添田中学校卒業式

添田中学校卒業式が3月7日、オークホールで行われました。卒業生の中学校生活はコロナ禍による活動制限や校舎建替による授業制限などさまざまな制限がありましたが、それらを乗り越えての卒業です。中野校長から卒業証書が手渡された後、荒川彩和花さんがこれまでの中学生生活を振り返り、同級生、在校生、先生、そして保護者へ感謝を述べると卒業生だけでなく、在校生、保護者の涙も誘いました。3月末に閉校する町内の各小学校では3月6日に卒業式が行われました。66年の歴史を誇る真木小学校では、4人の卒業生が太田校長から卒業証書を手渡されました。

↓式の最後に在校生、保護者、教師に向けて、卒業生全員で「群青」を合唱しました



↑卒業生答辞を述べる荒川彩和花生徒会長



↑保護者などに見守られながら卒業証書を受け取りました

↓18年ぶり2度目の県大会優勝と全国大会出場を決めたフレンズメンバー。全国大会での躍進が期待されます



抜群のチームワークで全国制覇へ

添田フレンズ春の県大会優勝・全国大会出場

ドッジボールチーム「添田フレンズ」が2月16日に行われた2024春の福岡県小学生ドッジボール選手権で優勝し、第34回春の全国小学生ドッジボール選手権に福岡県代表として出場することを寺西町長に報告に訪れました。31チームで争われた県大会では辛くも予選を突破すると、決勝トーナメントでは強豪チームとの対戦が続きますが接戦を制し決勝へ。3セットマッチで行われた決勝は、2セットを先取し見事優勝を果たしました。3月30日に行われる全国大会を前にキャプテンの西山楓馬さん(中元寺小学校)は「優勝して帰ってきます」と力強く寺西町長へ抱負を語りました。

和紙を使ったランタンで空間を彩る

児童館わくわくイベントデー

3月20日、児童館で「和紙ランタン」づくりが行われました。事前に参加申し込みを行った児童、保護者25人が参加。ふくらませた風船に和紙を貼り、その上に色々な形に切り取った折り紙を貼っていきます。和紙が乾き、中の風船を割るとランタンが完成。中に電球を入れると、児童館が幻想的な空間に変わりました。



↑個性豊かなランタンが出来上がりました

筑前琵琶で聴く平家物語の世界

図書館・読書会「図書館で楽しむ音楽会」

3月9日、町立図書館で図書館で楽しむ音楽会が開催されました。筑前琵琶奏者の高木青鳳さんを迎え「壇ノ浦」や「五条の橋」など5曲が演奏されました。筑前琵琶の力強い音色と高木さんの感情豊かで抑揚のある歌声で、物語の世界へと引き込まれる来場者。演奏が終わると満員の会場から拍手が沸き起こりました。



↑来場者も一緒に声を出す場面もあり会場が一体となりました

町バス「添田小学校口」の時刻が変更

4月21日からそえだジョイに町バスが乗り入れを開始します

4月21日(月)から、平日のみ運行する町バスまちなかコースに新しく「そえだジョイ」にバス停を設置します。バス停の設置に伴い「添田小学校口」の時刻が変更になりますので、利用する際はご注意ください。変更後の時刻表は、役場や町バス車内で配布しています。



図 役場まちづくり課まちづくり推進係 ☎82-5965



まちなかコース時刻表 (令和7年4月21日～)

まちなか → 添田駅				
添田警部交番前	9:10	10:50	12:15	〃
火渡橋	9:12	10:52	12:17	〃
伊原	9:13	10:53	12:18	〃
朝日ヶ丘団地前	9:15	10:55	12:20	〃
デイリーヤマザキ田川添田店	9:17	10:57	12:22	〃
旧伊原駅	9:18	10:58	12:23	〃
庄地区集会所前	9:23	11:03	12:28	14:13
役場	9:25	11:05	12:30	14:15
郵便局横	9:29	11:09	12:34	14:19
そえだジョイ	9:31	11:11	12:36	14:21
添田小学校口	9:33	11:13	12:38	14:23
畑川	9:34	11:14	12:39	14:24
宮城内科胃腸科医院前	9:35	11:15	12:40	14:25
添田駅	9:37	11:17	12:42	14:27

添田駅 → まちなか						
添田駅入口	8:09	8:54	9:59	11:24	12:49	14:34
添田駅	8:10	8:55	10:00	11:25	12:50	14:35
宮城内科胃腸科医院前	8:13	8:58	10:03	11:28	12:53	14:38
畑川	8:14	8:59	10:04	11:29	12:54	14:39
添田小学校口	8:15	9:05	10:05	11:30	12:55	14:40
そえだジョイ	〃	〃	10:07	11:32	12:57	14:42
郵便局横	8:16	9:01	10:09	11:34	12:59	14:44
役場	8:18	9:03	10:11	11:36	13:01	14:46
庄地区集会所前	〃	9:06	10:14	11:39	13:04	14:49
役場	〃	〃	10:16	11:41	13:06	14:51
添田警部交番前	〃	〃	10:18	11:43	〃	14:53
火渡橋	〃	〃	10:20	11:45	〃	14:55
伊原	〃	〃	10:21	11:46	〃	14:56
朝日ヶ丘団地前	〃	〃	10:23	11:48	〃	14:58
デイリーヤマザキ田川添田店	〃	〃	10:25	11:50	〃	15:00
旧伊原駅	〃	〃	10:26	11:51	〃	15:01

今年度から1回の乗車に助成券を2枚以上使えます

タクシー利用助成は毎年申請が必要です

運転免許を持たない75歳以上の人を対象とした「タクシー利用助成券」の交付を受けるには毎年申請が必要です。役場から郵便などで申請の案内はしていません。今年度の助成券が必要な人は申請をお願いします。



◎対象者 <<すべてに該当する人>>

- ▶ 添田町に住民票がある75歳以上の人
- ▶ 運転免許証を持っていない人
- ▶ 町税、使用料などに滞納がない人

◎申請に必要なもの

- ▶ マイナンバーカードなどの本人確認ができるもの
- ▶ タクシー利用者登録証 (すでに登録している人のみ)

※代理で申請する場合は、代理人の本人確認ができるものがが必要です。

◎助成内容

利用助成券1枚につき500円を助成
 ※交付決定月により交付枚数が異なります。

【今年度から1回の乗車に複数枚使えます】

昨年度までは1回の乗車につき、助成券の使用は1枚でしたが、今年度から枚数制限がなくなりました。
 ※タクシー利用料金を超える枚数は使用できません。

図 役場まちづくり課まちづくり推進係
 ☎82-5965



守り継がれる文化財

田川市郡には19件の国指定文化財があり、その半数以上が添田町に存在しています。今回の歴まちコラムは、国の史跡に指定されている英彦山中岳山頂にある英彦山神宮上宮の保存整備工事に触れます。

国

指定文化財19件の内訳は田川市が2件、香春町・川崎町・福智町・赤村が各1件、添田町が13件で、添田町の件数は群を抜いて多いことが分かります。これは地域の方々が地元で大切に守り残されてきたものを後世へ確実に継承してきた「努力の賜物」と言えます。

町

内には国指定文化財の13件以外にも多くの文化財が大切に守り継がれてきました。例えば、中元寺の諏訪神社に生育する県指定文化財の天然記念物「イチイガシ」は幹に大きな損傷を受け、近年は生育状態が悪くなっていました。地域の方々が樹木医と協力して治療したことで生育状態が良くなりました。その他、各地域の祭礼で

令

は道具類の新調や修理などが行われ、お祭りが継続できるよう取り組みがなされています。令和4年度からは、英彦山中岳山頂にある英彦山神宮上宮の保存整備工事が開始されました。英彦山は国の「史跡」という文化財に指定されており、上宮は「史跡」の歴史的な価値を示す重要な文化財として位置づけられています。正面からは一つの建物のように見えますが、側面から見ると宝殿と拝殿の二つの建物が並んでおり、奥側の宝殿は天保13(1842)年、拝殿は弘化2(1845)年に佐賀藩主の鍋島斉正が再建したものです。上宮の歴史を紐解いてみると、久安元(1145)年にお経が奉納された記録があり、



↑ 工事中の英彦山神宮上宮(令和6年10月撮影)

この頃から祈りの場であったことが分かります。その後、社殿はいくども焼失しますが、そのたびに先人たちによって再建されました。近年では、地震や豪雨などの自然災害で倒壊の恐れが生じ、英彦山神宮が中心となり、保存整備工事に取り組み、令和7年秋頃の完成が予定されています。工事業者によると、安全を確保するため最善の方策を尽くしても、やはり山頂という厳しい自然環境で強風などにより部材の一部が剥がれ落ちるなど、大変危険な現場ということですから、そのため、山頂周辺が立ち入り禁止となっていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【文・西山絃二学芸員(商工観光振興課歴史文化財係)】

文芸歳時記

【短歌 投稿】

陽炎とおぼしき明かり揺らめきぬ

やがては消えて寒き雨ふる

独活山強実

「ありがたういろいろお世話になりました」

役目を終えた学び舎に告ぐ

佐藤 直

コトコトとレールの間ほどのこの世にも

出会ひし家族の幾年よ

柳瀬 一徳

花祭り小さな釈迦に甘茶かけ

児らも集まり南無お相伴

西村 宗雪

五月とも九月ともいう凶予言

白梅の花青空に向う

久保田克利

【俳句 投稿】

源水の大河となりて花街道

集まって歌って踊り春よ来い

伊勢村 稔

鴨鳴くや銃口暗き火縄銃

旅の傘たたためば花の零れけり

寺本 芳寛

乳牛の乳房重しや春の月

島津余史衣

伊井寸美子

山本 仁恵

群青の山並はるか芝桜

若人の添うて春呼ぶ手風琴

天野ユキ海

春いく度東北の声悲しけり

立花 克明

【川柳 投稿】

空巾散歩ニューデザインのスロープカー

町内に100年以上の椎茸園

原田 順子

●5月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

4月14日(月)までに役場総務課に投稿してください。

※投稿1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

関 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-4000)

添田町地域子育て支援センターからのお知らせ

子育て支援センターは保育所や幼稚園に通っていない親子が交流を深めたり、楽しく遊んだりできる施設です。くろみ保育園の2階にあり、保育士が常駐して子育ての不安や悩みも相談できます。絵本の読み聞かせや、工作、保健師や助産師からのアドバイスを受けることができるサークルも定期に開催しています。日曜、祝日を除く10時から16時まで開いていますので、気軽に遊びに来てください。

【サークルの紹介】 ※時間や場所は変更になる場合があります。詳しくは問い合わせください。

サークル名	開催日時、場所	活動内容
サークル「めだかつこ」	毎週火曜日 10時～12時 子育て支援センター	未就園児と保護者が対象のサークルです。自由遊びや製作、運動遊びなどを行っています。予約すると有料で給食の試食をすることができます。
サークル「おんぶに抱っこ」	毎週金曜日 10時～15時 町立児童館	未就園児と保護者が対象のサークルです。親子健康教室やおっぱい相談もありますので、子育ての不安や悩みも気軽に相談できます。
ベビーサークル「あっぷっぷ」	毎月第2・第4水曜日 10時～12時 子育て支援センター	生後2か月～12か月の乳児と保護者を対象にベビーマッサージやふれあい遊びなどを行っています。
マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」	毎月第2木曜日 10時～12時 オークホール和室	助産師さんと一緒に妊娠中の生活などを楽しく学びます。産後ママの参加もお待ちしております♪

【子育て支援センター4月の主な予定】

★サークル「めだかつこ」(毎週火曜日) ▷8日/新年度スタート ▷15日/虹の会読み聞かせ(給食) ▷22日/こいのぼり製作(給食)

★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日) ▷11日/虹の会読み聞かせ ▷18日/親子健康教室・おっぱい相談 ▷25日/ベッタンアート

★ベビーサークル「あっぷっぷ」▷9日 ▷23日/虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」▷10日

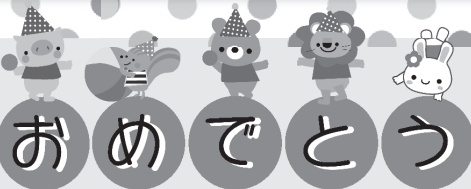


↑ のびのび
そえだっこ

詳細は「おんぶに抱っこ通信」で確認ください。「おんぶに抱っこ通信」は添田町役場などで入手でき、添田町子育て情報ポータルサイト「のびのびそえだっこ」にも掲載しています。

関 添田町地域子育て支援センター(☎85-0888) 添田町大字落合984番地くろみ保育園2階

4月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY



おと
荒木 捺都 ちゃん
4月15日生 ◎・峰地

笑顔が癒しのおとちゃん、お誕生日おめでとう。3歳もたくさん楽しいことしょね! ダイスキ!

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

関 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-4000)



試験・募集

自衛官等採用試験

【予備自衛官補（一般）】

▼試験日 ▽筆記試験・適性検査／4月6日(日)・11日(金)のいずれか1日 ▽口述試験・身体検査／4月13日(日)・19日(土)・20日(日)のいずれか1日

▼受付締切 4月8日(火)

▼受験資格 日本国籍を有する18歳から52歳までの人

【予備自衛官補（技能）】

▼試験日 ▽筆記試験・適性検査／4月6日(日)・11日(金)のいずれか1日 ▽口述試験・身体検査／4月13日(日)

▼受付締切 4月8日(火)

▼保有する国家免許資格などに応じて年齢要件が異なります。詳しくは問い合わせてください。

自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所

(☎0948-22-4847)

第55回田川郡民登山会

参加者募集

▼とき 4月27日(日)9時30分集合

▼集合場所 探銅所駅前

▼実施予定時期 8月から令和8年3月上旬までに2日間・10日間程度

▼参加資格 巡拝予定地域の戦没者遺族（配偶者、父母、子、兄弟姉妹、子・兄弟姉妹の配偶者、孫、甥・姪）

※巡拝予定地域や実施時期、申込方法など詳しくは問い合わせてください。

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

▼目的地 牛斬山（580メートル）

▼参加費 無料

▼募集期限 4月17日(木)

▼注意事項 ▽登り約2時間下り約2時間30分の行程を予定しています ▽小学生以下は保護者の同伴が必要です ▽弁当、水筒、雨具などは、各自で用意してください。

※申込方法など詳しくは問い合わせてください。

福岡教育委員会社会教育課社会教育係 (☎82-2559)

公共職業訓練生（6月生）を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の職業訓練です。

▼訓練期間 6月3日(火)～11月27日(木)

▼訓練科名 ものづくり溶接科／定員15人

▼対象者 公共職業安定所（ハローワーク）に求職を申し込んでいる人

▼受講料 無料（教科書・作業着などは自己負担）

▼募集期限 5月9日(金)

▼入所選考 5月14日(火)／筆記および面接

▼申込先 住所を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

職業安定所（ハローワーク）の職業訓練相談窓口

福岡県福祉労働部飯塚

ポリテクセンター飯塚

(☎0948-22-4988)

手話講習会（入門編）受講生募集

手話の基礎から学べる講習会です。中学生以上ならどなたでも受講できます。

気軽に始めてみませんか。

▼講習期間 6月10日(火)～11月4日(火)の毎週火曜日19時～20時30分／全20回

※初日と最終日のみ19時～21時。

▼ところ 川崎町立隣保館

▼対象者 町内在住または通勤・通学している中学生以上の人

▼定員 先着10人

▼受講料 3千300円

▼申込期限 5月27日(火)

▼申込先 福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

令和7年度県政モニター募集

▼活動内容 アンケートの回答、県政に関する提案など

▼任期 令和8年3月末まで

▼応募資格 県内在住の18歳以上で、インターネット・電子メールを利用できる人（一部除外要件あり）

▼謝礼 最大3千円分のQUOカードを進呈

▼応募締切 6月1日(日)

福岡県県民情報広報課広聴係 (☎092-643-3103)

戦没者追悼式参列者募集

先の大戦における戦没者に追悼の誠を捧げるとともに平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催します。

【全国戦没者追悼式】

▼とき 8月14日(木) 15日(金)

▼ところ 日本武道館（東京都）

田中組集会所前

▼参加費 一般＝二千円、小学生以下＝千円（おにぎり・汁付き）

※ルアーの使用は禁止です。釣り具の貸し出しは行いませんが、釣り具屋が来場し、釣り道具やエサの販売をします。

※成績上位の人には、豪華賞品があります。

【ヤマメ釣り大会】

▼とき 4月27日(日)6時30分～(受付6時)／雨天決行

※事前予約不要。6時30分以降も随時受付。（表彰式11時ごろ）

▼ところ 上中元寺公民館前

上中元寺ヤマメ釣り大会

ヤマメつかみどり大会

【ヤマメ釣り大会】

▼とき 4月27日(日)10時00分～

▼ところ 上中元寺公民館前

▼対象者 小学生以下

▼参加費 小学生500円（釣り大会参加者と幼児は無料）

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

中島家住宅

「端午の節句に遊ぶ」

今年も中島家に5月人形を飾ります。大正夢の演奏会も行いますのでぜひお越しください。

▼とき 4月19日(土)から5月11日(日)までの水曜日・日曜日10時～16時

※4月29日(火)、5月5日(日)、5月6日(火)は開館します。

【大正夢演奏会】

▼とき 4月20日(日)13時30分～

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎092-643-3301)

知っておきたい年金の豆知識

国民年金保険料額が17,510円に変わります

令和7年度の国民年金保険料は、月額17,510円です。支払い方法によってお得な割引制度

（1か月あたり最大708円）があります。各月納付や口座による翌月末振込以外の納付方法で納めると割引を受けることができます。詳しくは日本年金機構のホームページで確認、または問い合わせてください。

付加保険料の納付制度

国民年金第1号被保険者や任意加入被保険者は、申し出により定額保険料に上乗せして月額400円の付加保険料を納付すると、将来の老齢基礎年金の額を増やすことができます。※納付を免除されている人は除きます。

離婚時の年金分割制度

離婚した場合、婚姻期間中の厚生年金を分割して、それぞれ自分の年金にすることができます。離婚後2年以内に手続きをする必要がありますが、調停の長期化などの理由により2年を経過した場合は、調停などの成立日から6か月以内であれば手続きが可能です。

障害年金(20歳前障害)制度

障害年金は、傷病や障がいによって日常生活などに介助が必要な人に20歳以降に給付を受けることができる制度です。20歳以降に申請でき、国が定めた障害等級表の状態に該当すれば年金が支給されます。

●障害年金1等級（年間支給額103万9625円）
介助を受けなければ日常生活のことがほとんどできないほどの障がいの状態

●障害年金2等級（年間支給額83万1700円）
必ずしも助けを借りる必要はなくても日常生活は極めて困難で労働による収入を得ることができないほどの障がいの状態

※申請には医師の診断書が必要です。詳しくは問い合わせてください。

年金機構のホームページを活用ください

日本年金機構のホームページには、制度の紹介や必要な手続き、お得な納付制度など、年金に関する情報が満載です。ぜひご利用ください。

福岡県福祉労働部保護・援護課 (☎82-5966)
直方年金事務所 (☎0949-22-0891)



↑日本年金機構ホームページ

人の動き

2月末日現在（ ）は前月比

- 人 口 8,276人（－13人） ●出生 2人
- 男 性 3,916人（－6人） ●死亡 20人
- 女 性 4,360人（－7人） ●転入 17人
- 世帯数 4,367世帯（－1世帯） ●転出 12人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
4月15日(火)、5月13日(火)
- 補聴器相談（役場ロビー）
4月11日(金)（15時～）、4月15日(火)（13時～）

- 無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
4月8日(火)、5月13日(火)

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）

- こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
4月8日(火)（10時～）、4月24日(木)（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

- 子ども支援オフィス無料巡回相談会（役場／10時30分～12時・13時～14時30分／予約制）
4月17日(木)、6月19日(木)

☎ 福岡県自立相談支援事務所（☎ 44-8631）
子ども支援オフィス（☎ 44-8612）

警察署からのお知らせ

- 国際電話からのニセ電話詐欺に注意！
＋1や＋44などから始まる国際電話を利用したニセ電話詐欺が急増しています。知らない番号からの電話には「出ない・かけ直さない」ようにしましょう。

◀被害を防ぐために国際電話のブロックを▶
海外との電話が不要な人は、国際電話番号からの発信・着信を無償で休止できます。

- ▶国際電話不取扱受付センター
☎ 0120-210-364（通話料無料）

1月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	19(+ 4)	19
人身事故	0(－ 1)	0
死亡者	0(± 0)	0
負傷者	0(－ 1)	0

☎ 田川警察署（☎ 42-0110）

税務署からのお知らせ

- 4月は20歳未満飲酒防止強調月間です
20歳未満の人の飲酒は、脳の発達などに悪影響を及ぼし、健全な成長を妨げるだけではなく、アルコール依存症になる恐れがあります。

◀お酒は二十歳になってから▶
令和4年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられましたが、お酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されています。

☎ 博多税務署酒類指導官部門（☎ 092-641-8131）

服部誠太郎知事再選

福岡県知事選挙
添田町開票区の結果概要

3月23日に行われた福岡県知事選挙の添田町での投票率は、40.82%で前回令和3年の投票率40.76%を0.06ポイント上回りました。なお、福岡県全体の投票率は31.58%でした。添田町の開票結果は、次のとおりです。

届出番号	所属党派	候補者氏名	得票数
1	無所属	吉田幸一郎	304
2	無所属	はっとり誠太郎	2,582
3	無所属	藤丸貴裕	20
4	お金をみんなへシン独立党	しんどう伸夫	59

●選挙当日有権者数／7,328人
●投票者数／2,991人(当日1,309人、期日前・不在者ほか1,682人)
●投票率／40.82% ●有効投票数／2,965票 ●無効投票数／26票
☎ 添田町選挙管理委員会（☎ 82-1231）

- 遠賀川流域で、河川の水質の改善などを目的とした環境保全活動を行う住民団体などに対して活動費を助成します。
 - 対象団体 支流を含む遠賀川流域で活動を行っている、または今後行おうとする会員数5人以上の団体
 - 対象活動 除草・清掃活動、
- Ⅱ 10月20日(月)～12月20日(土)
※応募期間外の申し込みはできません。
- ☎ 白木原動物病院（☎ 42-11006）
☎ 済城動物病院（☎ 46-11122）
- 遠賀川環境保全活動団体
支援助成事業

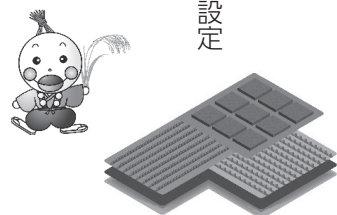
農業委員会報告

【3月11日(火)開催 総会審議結果】

- ▼農地法第3条にかかる所有権の移転
・ 3件／面積9590㎡を許可
- ▼農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定
・ 3件／面積7882㎡を許可

※5月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、4月25日(金)です。

☎ 添田町農業委員会（☎ 82-1237）



水質・生物調査など
※他からの助成を受けている活動は除きます。

▼助成対象活動期間
令和7年6月～令和8年1月

▼助成内容 上限10万円／1団体

▼申込期限 4月18日(金)

☎ 北九州市上下水道局水質試験所（☎ 093-641-5948）

ありがとうございました
(敬称略)

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼伊川禮紀（下落合）▼武内ミツ子（桝田）▼宮崎容子（上中元寺）▼宮崎ミヨ（添田西）▼大屋博（町三）▼行徳亨（庄中）▼進藤康雄（新城）
(令和7年3月14日現在)

【要予約】身体障がい者巡回補装具判定

お知らせ

する人は、前回交付を受けた補装具を持参ください。

▼予約締切 4月30日(水)

▼予約方法 電話または窓口にて申し込み

※電動車いす、座位保持装置、重度障害者用意思伝達装置は相談を受け付けません。また、補聴器の支給・修理、身体障害者手帳の診断書作成は行っていない。

☎ 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係（☎ 82-1232）

自衛隊募集の事務に関する
対象者情報を提供します

町では、法令に基づく防衛大臣からの依頼に応じて、自衛官

※補装具の再交付、修理を希望

▼とき 6月6日(金)10時～(受付9時30分)

▼ところ 田川文化センター

▼判定内容 義肢・装具・車いすの新規交付、再交付および修理の要否判定、処方など

▼持参するもの 印鑑、身体障害者手帳または戦傷病者手帳、個人番号がわかるもの

※補装具の再交付、修理を希望

および自衛官候補生募集のために必要な住民基本情報を提供しています。この情報をもとに、自衛隊福岡地方協力本部が自衛官募集の通知を個人に送っています。町から提供した情報は、保管期間・場所、廃棄方法、目的外の利用をしないことが厳重に定められていますが、情報提供を希望しない場合は「除外申請書」を提出すると、提供する情報から除外しています。

▼対象者 その年に18歳および22歳となる人

▼除外申出方法 「除外申請書」を役場住民課戸籍住民係の窓口または郵送で提出

※除外申請書は、窓口で配布の

あすなる猫
不妊・去勢手術支援事業

福岡県獣医師会では、殺処分される不幸な猫を減らし、飼い主のいない猫と共生を目指す地域活動を支援するため、特定の飼い主がいない猫に不妊・去勢手術の支援を行っています。田川市郡を含む県北地区が

ほかに町ホームページからダウンロードできます。

▼申出締切 5月16日(金)

☎ 役場住民課戸籍住民係（☎ 82-1233）

ら抽選で決定され、当選者へはメールでお知らせします。飼い猫は対象外です。

▼申込方法 抽選申込フォーム（<https://fukuoka-neko.com/>）から申し込みください

▼申込対象 当該地区に住所を有し、動物病院へ猫の搬送が可能な人

▼手術費用（耳カット費用含む）
メス1匹＝1万円（税込）、オス1匹＝5千500円（税込）

▼応募期間 ▽一次＝4月15日(火)～5月15日(木) ▽二次＝9月1日(月)～10月1日(火)

▼手術実施期間 ▽一次＝6月1日(日)～7月31日(木) ▽二次

最期まで自分らしく生きるために

エンディングノートを配布しています

人生100年時代、最後まで自分らしく暮らしたいという思いとそのために必要な準備をサポートするためエンディングノート「わたしの人生」ノート～もしもに備えて自分のエンディングを考えておく～を作成しました。

医療や介護をはじめ、自分で考えておきたいことや備えておきたいこと、家族に伝えておきたいことなどを書き留めておきましょう。もしものときに必要な自分の情報や意思をまとめるきっかけに、エンディングノートをご活用ください。

▶配布場所
▷町地域包括支援センター
▷役場福祉環境課（①番窓口）
☎ 添田町地域包括支援センター（☎ 41-3888）

パノラマ田川

田川市立病院
みんなの健康講座

田川市立病院では毎月1回、地域の皆さんを対象とした健康講座を行っています。専門の職員が講師となり、生活習慣病を中心に皆さんの関心が高い内容をお話します。参加無料、申し込み不要です。

▶開催日・講座名

5月13日(火)	がん検診のすすめ
6月11日(水)	災害と地域防災～田川の防災を考える～
7月10日(木)	草むらに潜むこわいお話～ダニ対策、大丈夫ですか？～
8月8日(金)	マンモグラフィについて～乳腺エコーとの違いについて～
9月8日(月)	歯周病と全身疾患

▶開催時間 11時～12時
▶ところ 田川市立病院2階講堂
☎ 田川市立病院（☎ 44-2100）



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soe-da.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

4月使用分から水道料金が変わります



水道事業は皆さんの使用料などで運営しています。人口減少による水道料金収入の減少などで赤字経営が続いていることから、4月使用分（5月請求分）から水道料金を改定します。安全安心な水を安定供給するため、ご負担をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

改正内容

基本料金の統一

添田町上水道、下中元寺地区簡易水道、英彦山・落合・上中元寺地区簡易水道で異なっていた基本料金を、4月から統一します。メーター使用料はかかりません

口径別用途別料金から口径別料金へ

一般用や営業用などの「用途別料金」を廃止し、水道メーターの大きさで変わる「口径別料金」に変わります

超過料金の変更

使用用途によって異なっていた超過料金を、1㎡あたり税込253円に変更します

4月からの料金体系

メーター 口径 (口径別)	基本水量	基本料金	超過料金	メーター 使用料	加入金	審査 手数料	検査 手数料
		1か月	1㎡につき				
13mm	8㎡まで	2,486円	253円	0円	66,000円	3,000円	3,000円
20mm	8㎡まで	2,706円	253円	0円	132,000円	3,000円	3,000円
25mm	8㎡まで	3,146円	253円	0円	264,000円	3,000円	3,000円
40mm	15㎡まで	6,116円	253円	0円	880,000円	3,000円	3,000円
50mm	15㎡まで	7,546円	253円	0円	1,760,000円	3,000円	3,000円
75mm	15㎡まで	9,636円	253円	0円	3,300,000円	3,000円	3,000円
100mm	15㎡まで	12,606円	253円	0円	3,300,000円	3,000円	3,000円

※金額は税込みです。ただし、審査手数料・検査手数料は非課税です。

水の使い過ぎに注意しましょう

水は、私たちの生活に欠かせないライフラインの一つです。限りある資源を大切に使うために、日頃から節水を心がけましょう。小さな工夫を積み重ねることで、水を大切に使うことができます。今日からできることに取り組んでみましょう。

洗面所・お風呂

- ・シャワーはこまめに止める
- ・残り湯は捨てずに洗濯や掃除などに再利用する
- ・歯磨きはコップを使って口をゆすぐ



台所

- ・汚れが目立つ食器は古紙や古布で拭いてから洗う
- ・「ため洗い」をする
- ・こまめに蛇口を閉める



洗濯

- ・ホースを流しっぱなしにせずバケツに溜めた水を使う
- ・お風呂の残り湯などを有効活用する



●火災に関する情報は☎ 42-0119 で確認ください。

UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
by MORISAWA 見やすいデザインの文字を採用しています。